

報道関係各位

三菱地所株式会社  
ヒルトン

## 宮古島・トゥリバー地区に「ヒルトン沖縄宮古島リゾート」 三菱地所とヒルトンが運営受託契約を締結、2023年に開業予定

**【2020年2月26日】** 三菱地所株式会社(本社:東京都千代田区、執行役社長:吉田淳一)とヒルトン(本社:米国バージニア州、取締役社長 兼 最高経営責任者:クリストファ J. ナセッタ)はこのほど、「ヒルトン沖縄宮古島リゾート」の運営受託契約を締結しました。同ホテルは三菱地所と鹿島建設株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:押味 至一)が開発・建設し、ヒルトンが運営、2023年の開業を目指します。なお、三菱地所が沖縄県内において、ビーチリゾートホテルの開発を行うこと、また、沖縄県の離島にヒルトンが進出するのは初となります。



調印式の様子 三菱地所株式会社 執行役常務 藤岡雄二(左) ヒルトン アジア太平洋地域社長 アラン・ワッツ(右)

「ヒルトン沖縄宮古島リゾート」は、宮古空港から車で約 15 分(7km)、さらに下地島空港から車で約 25 分(13km)の距離に位置し、宮古島の中心市街地や伊良部大橋に程近い場所に建設されます。オーシャンフロントでビーチに面し、伊良部大橋が見渡せる立地の良さを生かした全 329 室の客室に、プールや宴会場の他、オーシャンビューのルーフトップバー、レストラン、スパ、フィットネスジム、チャペル、エグゼクティブラウンジ、ミーティングルーム等を備える予定です。



宮古島市トゥリバー地区空撮

本ホテルでは、宮古ブルーの青い海と白い砂浜の美しいコントラストを眼下に感じ、訪れた方が寛げる空間を創出するなど、質の高いリゾートホテルを目指しています。滞在価値の高いホテルの開業により、宮古島のみならず、沖縄全体の観光産業及び地域経済の活性化に貢献できるよう計画を鋭意推進いたします。

宮古島市には、東京、大阪、名古屋の3都市からの直行便が運航する宮古空港に加え、2019年3月に、下地島空港において新しい旅客ターミナルビルが開業しました。東京及び大阪から更なるエアラインが定期運航を開始したほか、香港からの直行便や台湾、韓国のチャーター便も就航しており、訪れる旅行者は年々着実に増えています。

下地島空港の旅客ターミナルビルである「みやこ下地島空港ターミナル」は、三菱地所グループが開発・運営しており、「空港から、リゾート、はじまる。」のコンセプトのもと、豊かな緑や自然の光を取り込み、空港に到着した瞬間から、宮古諸島を離れる航空機へ搭乗する直前まで、リゾートを体感いただける空間を目指しています。本ヒルトンホテルとともに同施設が国内外の人々に宮古諸島の魅力を伝えるゲートウェイとなり地域活性化に寄与できるよう、地元の特産品や地域文化の情報発信に努めています。



みやこ下地島空港ターミナル

三菱地所株式会社 執行役常務 藤岡雄二は、今回の契約締結にあたり、以下のように述べています。

「みやこ下地島空港ターミナルを開発・運営する当社にとって、この地に世界的知名度の高い国際ショナルホテルオペレーターを迎えてホテルを開業することは大変喜ばしいことと感じております。下地島空港への更なるエアライン誘致にとっても追風となり、海外の方も含めた新たな観光客創出により、宮古島の若いては沖縄県の発展に一層寄与できるよう、鋭意計画推進に取り組む所存です。計画の推進に当たっては、当社と鹿島建設、ヒルトンの英知を結集し、豊かな自然や風景を最大限活かした魅力あるホテル、訪れる方皆様にとって素敵な空間になるように努めてまいります」

ヒルトンは世界中に1億300万人以上の会員を持つゲスト・ロイヤルティ・プログラム「ヒルトン・オーナーズ」の高い送客力と日本における長年の運営実績があります。また、現在ヒルトンは、沖縄で4軒のホテルを展開しており、サンゴ礁を守る取り組みをはじめとした環境保全活動や、地元の若者および女性を対象としたキャリア形成支援なども行っており、地域社会との共存に注力しています。

ヒルトン アジア・オーストラレーシア地区 開発担当上席副社長のガイ・フィリップスは、以下のように述べています。

「このたび、三菱地所と『ヒルトン沖縄宮古島リゾート』の運営受託契約を締結することができ、大変うれしく思います。沖縄県宮古島市への旅行者は近年着実に増加しており、宮古島は日本国内の旅行者はもちろん、海外のお客様からの人気も高まっています。より多くのお客様を沖縄宮古島にお迎えし、記憶に残る素晴らしい体験をいただけるよう、開業に向けて準備を始めて参ります」

また、ヒルトン 日本・韓国・ミクロネシア地区 運営最高責任者であるティモシー・ソーパーは、以下のように述べています。

「今回の三菱地所との運営受託契約締結により、沖縄県の離島に初進出となった『ヒルトン沖縄宮古島リゾート』は、開業準備中のホテルを含め県内では6軒目のホテルとなります。宮古島へ訪れるお客様に特別な体験をしていただけるよう、100年の歴史を持つヒルトンの最高のサービスを皆様に提供できる日を心待ちにしています」

#### 【ホテル概要】

名称 : ヒルトン沖縄宮古島リゾート  
所在地 : 沖縄県宮古島市平良字久貝アゲタ 550-7(地番)  
建物規模 : 地上8階  
敷地面積 : 54,769 m<sup>2</sup>  
延床面積 : 27,983 m<sup>2</sup>  
客室数 : 329室  
ツインベッドルーム、キングベッドルーム、スイートルーム、バリアフリールーム  
共用施設 : オールデイダイニング、シグネチャーレストラン、ロビーバー、ルーフトップバー、エグゼクティブラウンジ、ミーティングルーム、ボールルーム、スパ、フィットネスルーム、キッズルーム、屋内プール、屋外プール、プールバー、ウェディングチャペル



位置図

###

### 三菱地所について

三菱地所は 1937 年設立の総合不動産会社です。「まちづくりを通じた社会への貢献」を基本使命に掲げており、丸の内に代表されるオフィスや商業施設の開発・賃貸・運営管理、収益用不動産の開発、住宅の開発・分譲、更には設計監理や不動産仲介、海外事業、エリアマネジメントなど多岐にわたる事業を手掛けており、近年はホテル開発・運営のほか空港事業を拡大しています。1890 年、まだ原野だった東京・丸の内一帯を購入し、世界有数のビジネスセンターに育て上げてきた歴史があらわすように、当社グループは「デベロッパーマインド」を大切にまちづくりを進めており、まちに住む人、働く人、訪れる人など、まちに関わるあらゆる人、さまざまな空間やサービスに求められる本質的な価値に思いを馳せ、チャレンジを続けています。

また、SDGs を企業活動の将来への成長スキームとして、CSR 調達ガイドラインの策定やサプライチェーンマネジメント、国連グローバル・コンパクトへの署名、人権宣言の公表などを行っており、ESG にも積極的に取り組んでおります。

<https://www.mec.co.jp>

### ヒルトンについて

ヒルトンは、世界 119 カ国に 6,100 軒以上 (971,000 室以上) のホテルを展開しているホスピタリティ業界のグローバルリーダーです。ヒルトンは、世界で最もおもてなしの心に溢れた企業であることをミッションに掲げ、これまで 100 年の歴史で 30 億人以上のお客様をお迎えしました。「2019 年版 働きがいのあるグローバル企業 世界ランキング」の上位企業として選ばれ、世界有数の ESG (環境、社会、ガバナンス) 投資指標である「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス」で 2019 年世界的業界リーダーにも選出されました。また、現在、18 のグローバル・ブランド・ポートフォリオを展開しています (日本では、コンラッド・ホテルズ&リゾーツ、ヒルトン・ホテルズ&リゾーツ、ダブルツリー by ヒルトン、キュリオ・コレクション by ヒルトンの 4 ブランド・16 軒のホテルを展開)。また、受賞歴を誇るゲスト・ロ

イアルティ・プログラム「ヒルトン・オーナーズ」の会員数は1億300万人以上を有し、ヒルトンの公認予約チャンネル経由で直接予約したヒルトン・オーナーズ会員は、客室を自分で選択できるデジタル・チェックイン、デジタル・キー（日本国内では一部のホテルでデジタル・キーのご利用が可能です。事前にフロントでチェックイン手続きをする必要があります）、コネクテッドルーム（日本では未導入）を会員登録直後からご利用いただけます。

最新の情報はこちらをご覧ください。<http://newsroom.hilton.com>,  
<https://www.facebook.com/hiltonnewsroom>, <https://twitter.com/hiltonnewsroom>,  
<https://www.linkedin.com/company/hilton>, <https://www.instagram.com/hiltonnewsroom/>,  
<https://www.youtube.com/hiltonnewsroom>